上村先生へのご質問まとめ

＜先生自身について＞

* 先生が性教育などの活動をはじめたきっかけは何でしょうか。また、継続のための原動力は何でしょうか。
* 外来患者さんの中に養護教諭がいらっしゃって、私のクリニックに学生の患者が案外居る事から、岡山の若者の現状を話して欲しいという事から始まりました。もちろん現実にクリニックにやってくる若者の現状をなんとかしたいという気持ちからでもあります。
* 継続するためには仲間を作る事です。私はピアの活動支援や岡山SRH研究会などを作って仲間で励まし合うようにしています。

＜デートDVについて＞

* 昔もデートDVはあったと思いますが、最近注目されてきた理由は何かあるのでしょうか。
* もちろんあったと思います。ただ今は携帯電話、ネットなど簡単に束縛出来るツールがあるのでより簡単に水面下で相手をコントロール出来るように成った事は事実です。

＜指導について＞

* 恋愛について子どもが養護教諭と話すきっかけをつくるコツを教えてください。
* 普段から居心地の良い空間を作っていく事だと思います。どんな相談でも指導や怒る事無く耳を傾ける姿勢が通じたら話してくれるのかなと思います。
* 愛情表現の手段がデートDV加害とみなされるものでしか表現できない子どもにはどのようにアドバイスすべきでしょうか。
* 相手を大切にする事は自分の要求を我慢する事だという事です。自分の気持ちを相手に理解してもらいたくて強く出るのですが、相手が本当に好きなら、相手を考えて我慢する事も付き合いには必要です。それが愛です。
* DV被害者の支援の際気を付けることは何でしょうか。また、DVであることを認識させるためにはどうしたらよいのでしょうか。

相手の事が怖い瞬間があるかどうかです。普通の恋愛では相手を怖いと思う事は無いのだと。そして被害者の気持ち相手と別れたいのではない、うまく付き合ってゆきたいのだと言う事です。その辺りに配慮して別れなさい、離れなさいの相談対応では被害者はついてこなく成ります。ただ話を聞く事が大事です。

* 子どもがデートDVの結果望まない妊娠をしてしまった場合、精神的にも経済的にも未熟ですがどのような方向性を持って対処すればいいでしょうか。
* 望まない妊娠であれば人工妊娠中絶しかないです。それは女性の権利である事を伝えてください。その後はもちろん心のケアですが、特にこちらから一方的に何か話す事は必要ないと思います。ただそばに居て何か聞きたい事があれば応えてあげる程度が良いと思います。

＜男性の性について＞

* 性の諸問題に関する男性の意識を向上させるために何か方策はあるのでしょうか。
* やはり小学校など小さいうちから男女の体の違い、お互いの心の変化、社会的な問題などきちんと教えておくことしかないかなと思います。そして人間として生きてゆくために性の問題は大切なものであることを認識してもらうことだと思います。

＜命の教育について＞

* 様々な環境で育った子どもたちに集団で性教育をする場合、どのようなことに気を付けるべきでしょうか。
* 私個人の意見で言えば、命につて強く押し付けるべきではないと思います。簡単に一般的な話をする程度で止めるべきで、命の教育が子供達全体の性行動を変えるとは思っていません。むしろ劣悪な環境にいる子供にとっては追い詰められ自己肯定感を失わせることになります。少なくても命の教育は小学生までで止めるべきです。